令和８年度
みやぎの算数教育改善プラン事業モデル地区

塩竈市の取組＜中間報告＞

モデル校　　塩竈市立第一小学校
塩竈市立第二小学校
塩竈市立第三小学校
塩竈市立月見ヶ丘小学校
塩竈市立杉の入小学校
塩竈市立玉川小学校

１ 事業の概要

（１）事業年度

令和７年度～令和９年度

（２）モデル地区

塩竈市、七ヶ浜町、大衡村（令和９年度までの予定）

（３）塩竈市の指定校

第一小学校、第二小学校、第三小学校、月見ヶ丘小学校、杉の入小学校、玉川小学校

（４）事業内容

各小学校の実態に応じた算数科の授業改善

ＡＩドリルを活用した学習支援体制の確立

（５）指定校の取組

①伴走支援の下に小学校全体で算数科の授業改善に取り組む

②ＡＩドリルを活用したＣＢＴ方式の単元テストの実施と学び直しに取り組む

③１人１台端末やＡＩドリルを活用し、授業と家庭学習の効果的な連携の下での家庭学習の充実を図る

（６）検証のポイント

①「算数が好き」と答える児童数を増やす

②「授業が分かる」と答える児童数を増やす

③「家庭学習時間」を増やす

２ 訪問の実際 （令和８年９月３０日現在）

（１）訪問実績

	訪問した回数	参観した授業数	指導・助言した教員数
合計	６８回	１７９コマ	54人

※その他、授業づくり相談、校内研究への助言等を実施

（２）モデル地区の児童の状況

項　目	6月
算数の勉強が好き	73.8%
算数の授業の内容が分かる	87.3%
平日の家庭学習が１時間以上	40.1%

※数値は肯定的な回答の割合（対象:モデル校２～6年生）

（３）訪問日の基本的な一日の流れ

時程	9:00頃	午前	午後	放課後	16:30頃
内容	訪問開始	授業参観（３コマ）	授業通覧資料作成	事後検討	訪問終了

（４）モデル校における伴走支援の主な内容

①授業づくり支援及び事後検討

（授業づくり）

・学びの土台となる学習環境の構築・整備に関する助言

・子供の意欲を高める価値付け（算数的な価値付けや認めて褒めること）に関する助言

・学びの自己調整の促進（AIドリルの効果的な活用等）に関する助言

・算数科の特質に応じた深い学びに関する助言

・教材の本質及び子供の実態に即した指導に関する助言

（事後検討）

・リフレクションシートを基にした対話による授業の振り返り

②校内研究における支援

・研究主任に対する研究推進のための助言

・研究授業の事前・事後検討会における助言

③研究主任との日程・内容調整

・指導主事活用予定表（Google Formで共有）の活用

④市教育委員会や管理職との情報共有

・各校の授業改善状況の共有

・支援の方向性の確認

⑤塩竈市情報交換会（７月）

・第１期訪問の成果と課題

・第２期訪問に向けての支援の方向性

⑥要請に応じた支援

（市内研修）

・学力向上推進委員会での講話（４月）

・標準学力調査分析会での講話（６月）

・AIドリル研修会の企画・運営（９月）

（校内研修）

・算数授業づくり研修会での講話（８月）

・AIドリル活用研修会での講話（９月）

（５）今後の取組について

①支援の方向性

・子供の学びにつながるAI ドリルの効果的な活用

・個の学びにつながる集団の学びの形成

・単元全体を見通した１単位時間の算数の授業づくり

②研修会等

・AIドリル研修会（１０月）

・第２回塩竈市情報交換会（11月）

・小中連携に係る中学校訪問（11月）